技術・家庭科＜〇〇分野＞学習指導案

※タイトルはMSゴシック体太字
※他はMS明朝体
※フォントサイズの基本は10.5ポイント
※表や図内の文字は，最小8ポイント

※基本的に項立てはするが 多 くは記入しない

平成○○年○○月○○日(○)
指 導 者:○○市立○○中学校
教諭　○○　○○
名
会　　場:○○市立○○中学校

(○)　　導要領の指導項目

2　題材の指導目標

※題材を通して育成したい力について説明する。
※学習指導要領の目標，題材観，指導観，育成したい力への結び付きを踏まえる。
※「〇〇を通して，〇〇する能力を育成する」など。
※指導計画，指導過程，評価規準作成において，ここで掲げた目標との関連性を踏まえる。

3　題材について

(1) 題材観

※題材と，学習指導要領の指導内容・指導項目・指導事項とのかかわり。
※社会的背景を踏まえた記述。
※本題材の特色，どんな内容か。
※本題材をどのように分析しており，どのように扱いたいか。
※どのような力を身に付けるのに役立つのか。有効性と留意点，必要なレディネス等。

(2) 生徒観

※実態調査の結果の分析から判断される生徒の実態。
※これまでの学習状況やレディネス等を踏まえた生徒の実態。
※本題材を扱う上で留意すべき生徒の実態。指導者がとらえている生徒の姿。
※課題や目標となる項目は，数値やグラフで表す。（客観的なデータ）

(3) 指導観

この学習を通して，育成したい力を以下の○つとした。

育成したい力
◇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇(関心・意欲・態度)
＊(工夫・創造)(技能)(知識・理解)についても同様に記入する。
＊題材によっては，該当しない観点もあり得る。

※本題材の目標と生徒の実態を踏まえて，いかに指導したいのか，教師の思い。
※授業展開，指導の工夫・手だて。
※自分が考える指導の手だてと，身に付けさせたい力。
※指導上の留意点。

(4) 研究主題との関連

宮城県教育研究会「技術・家庭研究部会研究主題」との関連を記す。
「生活で活用できる力」の育成を目指して　～「つながり」を生かす段階の工夫～

※本題材と研究主題や副題との関連性。
※本題材で育成する力と研究主題とのかかわり。

4　題材の評価規準

題材「○○○○」～副題～

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解

＊題材によっては，評価しない観点もあり得る。			

※学習指導要領の4観点を踏まえ，題材の学習をとおして育成したい生徒の姿を設定する。
※学習指導要領の指導項目・指導事項と題材の目標との関連性を踏まえる。
※評価規準作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料(国立教育政策研究所)を参考に設定する。

学習指導案　作成例(仙台市版)

５　題材の指導内容と評価（題材の指導時数が長い場合は，小題材で作成）

題材「　○○○○○」　○時間　指導項目：○（○)ア，イ　（○)ア，イ

	時間	時数	具体の評価規準			
			生活や技術への関心・意欲態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
「小題材」 (1)指導内容	1	1	① ＜Aとする状況＞ □ ＜Cの生徒への支援＞ □ ＜評価方法＞ □			
「小題材」 (1)指導内容 (2)指導内容	3	1				② ＜Aとする状況＞ □ ＜Cの生徒への支援＞ □ ＜評価方法＞ □
		2			③	④
「小題材」 (1)指導内容 (2)指導内容 (3)指導内容	4	1				⑤
		2			⑥	
		1	⑦	⑧		

※題材の時数が多い場合は，「小題材の指導内容と評価の計画」にする。

※本時の指導過程の具体の評価規準と連動させる。

※指導内容ごとに，横に①～番号を付け，具体の評価規準を記入する。４観点全てを設定する必要はない。

※評価規準を記入，Aとする状況と判定の根拠を，＜Aとする状況＞として記入，＜Cとなる生徒への支援＞を記入する。

6　本時の指導計画

(1) 本時の題材「○○○○」～（必要に応じて）副題～

(2) 本時の指導目標　※主な目標を文章または箇条書き。

(3) 本時の指導の手だて・工夫　※重要

※本時の目標を達成するための主な手だてや工夫，教師の思いを具体的に記載する。

(4) 本時の具体の評価規準（１～２項目）

① ○○○○○○○○○○○○○○○○○○(関心･意欲･態度)

Aとする状況　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

Cへの手だて　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

＊評価方法　例:ワークシート

②

※本時の目標を達成した場合に身に付く力。

※評価場面と評価方法を考え，１つか２つ程度設定する。

※５題材の指導内容と評価の計画の評価規準と連動させる。

(5)本時の指導過程　←指導過程はA4片面におさめる。

題材名「○○○○○」(○/□時)

段階	生徒の学習活動	学習形態	･指導上の留意点 ＊資料･準備物など	【指導の視点】 □評価計画
課題把握○分	1 2 (本時の目標)○○･･･････････････○○	一斉	＊ワークシート，自己評価カード	
課題追求○分	3	ｸﾞﾙｰﾌ		【言語活動】
課題解決○分	4 5	個別	･○○させるために○○する。	□ワークシート①(関心･意欲･態度)
まとめ○分	6	一斉		【生活とのつながり】 実生活でどのように活用させるか

(手だて)○○理解を助けるために，○○を提示する。

(手だて)1～2つ設定
･指導上の留意点に教師主体の表現で記入する。
例　○○することで，○○させる。
○○させることで，○○する。
○○させるために○○する。等

【指導の視点】
･指導目標を達成するために，教師がどんな指導や支援を行うのかを具体的に記入する。
･生活とのつながり，ICT活用，基礎･基本，地域の特性，発展性，言語活動は【　】で囲む。

(手だて)　【中心活動】
･授業改善用に振り返りたい，分析したい，見て欲しい等の主な手だてや工夫は分かりやすく囲みで示す。
･指導目標を達成するための手だてや工夫を囲みで記入する。
･授業改善及び授業を振り返るポイントとして記載する。

□評価計画
･評価方法を明確にする。
･評価規準は5と整合性を図る。